令和３年度 青少年育成市民会議推進のために

１　市民会議基本方針

（１）はじめに

瑞浪市青少年育成市民会議は、昭和４３年の発足以来「青少年の健全育成」という重要な事業に取り組み、市民の青少年育成に対する意識の高揚と、具体的な実践とを願い、歴代委員のたゆまぬ努力と、充実した学校教育、家庭教育、社会教育の推進等が相まって成果をあげてきた。

しかし、少子高齢化、親世代の多忙化、高度な情報化、犯罪やいじめ、心の問題等、青少年を取り巻く状況は変化し続けており、健全な育成に関する課題への取組が困難になってきている。私たちは、関係機関、関係団体、地域住民等が共通の理解と認識を深め、有機的な連携のもとに育成活動に取り組む必要がある。

そのために、市民会議の基本方針、重点目標および活動が町民会議に反映されるよう努力し、地域住民こぞっての青少年健全育成活動となるようにしていく。

（２）目　　標

次代を担う青少年が社会の一員としての責任と役割を自覚し、心豊かでたくましく自立し、ふるさとに愛着をもって成長することは、すべての市民の願いである。

瑞浪の青少年の健全な育成を目指して親や大人が姿勢を正し、家庭・学校・地域が互いに連携し、責任をもってそれぞれの役割を果たし、育成の輪を広げていく市民運動を目指す。

（３）目標達成のために

育成活動に対し、次の「合い言葉」を基本方針として推進する。

瑞浪の青少年は		みとめて	みんなの力で健やかに
		ほめて	
瑞浪市民の手で		はげまして	

（ア）構成員は、所属する団体の活動を通して、青少年の健全育成に努める。

（イ）市・町・区の各育成会議の充実を図り、その活動を通して地域の人々に青少年育成の重要性について理解を深める。

（ウ）部会は、具体的に計画を立て、全市民が協力、応援できるよう工夫する。

（エ）市青少年育成推進員は、活動についての研修を深め、市民会議と町民会議とをつなぐ役割を果たす。また、町民会議の青少年育成について、その充実を図る。

２　本年度の重点

（１）青少年の思いや考え、置かれている状況等を正しく把握した上で働きかける。

私たち大人が「講演等を聴いて力量を高める」「主張大会で小・中・高校生代表の主張を聴く」「情報モラルの最新情報を知る」「語る会で青少年の考えに耳を傾ける」「ボランティア事業に青少年と共に参加する」等を行う。

その上で、地域での日常や行事の中で、挨拶を交わしたり対話をしたり、共に活動したり議論したり、必要に応じて指導したりしていく。

（２）活動内容と組織を目標および現状に照らして更なる改善をする。

市民会議の発足から半世紀が経ち、青少年を取り巻く状況は大きく変化した。

そこで平成３０年度に、青少年育成市民会議規約並びに活動内容と組織を見直し、現状に即した青少年健全育成活動を推進する体制作りを行い、それを実践してきた。

今年度は、新型コロナウイルスの感染防止の観点から昨年度実施できなかった専門部会等の活動を、工夫して実施していくことを目指す。